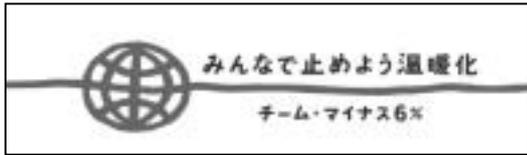


テーマ ～環境～



市政トピックス

環境問題を考える冊子「見つめよう地球環境 始めようエコライフ」をつくりました

お問い合わせ/環境保全課 内線
1512 (直通)
2264 ☎048 463

わたしたちの住む地球では、現在、「地球温暖化」や「オゾン層の破壊」といった深刻な地球環境問題」が起こり、地球の様子が急激に変わってきています。このままでは、将来、人も他の動植物も滅んでしまうかもしれません。そこで、かけがえない地球を守っていくにはどうしたらよいかをひとりひとりが真剣に考える必要があります。この冊子には、世界中で深刻化している「地球環境問題」について、わかりやすくまとめられていますので、ぜひご覧ください。

配布場所/環境保全課、内間木支所、朝霞台出張所、朝霞駅前出張所、エコネットあさか各公民館



環境問題を考える冊子「見つめよう地球環境 始めようエコライフ」をつくりました

環境大学を開講します

日時・内容・講師/下表参照
会場/エコネットあさか
対象/市内在住の18歳以上の方で4回すべて受講できる方
定員/50人(先着順) 保育あり(定員6人 1歳以上就学前まで)
申込方法/1月11日(金)から、直接または電話でエコネットあさかへ。

日時	タイトル・内容	講師
開講式		
1 2月6日(水) 午前10時～正午	「住環境における化学物質の被害について」	埼玉県環境アドバイザー 小澤喜美子さん
2 2月13日(水) 午前10時～正午	「ごみ有料化とは?」	東洋大学経済学部教授 やまやしゅうごく 山谷修作さん
3 2月20日(水) 午前10時～正午	「化学物質の便利さと危うさ」	淑徳大学国際コミュニケーション学部教授 わかばやしめいこ 若林明子さん
4 2月27日(水) 午前10時～正午	「環境パートナーシップと持続可能な社会」～相模原での環境まちづくり～	麻布大学環境保健学部専任講師 村山史世さん
閉講式		

お問い合わせ/エコネットあさか(リサイクルプラザ)
☎048 486 0222



最終処分場から注意を受け返却された不燃物の一部

「燃やすごみ」の中に不燃物(特に飲料用の缶、乾電池)が

クリーンセンターから
のお願い

混入されてしまい、焼却灰の中に金属等が残ってしまうことが多く発生しています。焼却施設の故障や事故の原因になるだけでなく、焼却灰の最終処分場の搬入ができなくなります。

また、缶や乾電池は、資源です。缶は、リサイクルされアルミサッシや建築材料などの鉄製品などに生まれ変わります。乾電池は、主要成分の亜鉛・マンガンは電子部品の材料に、外缶は鉄製品としてそれぞれ再利用されています。

ごみの分別にご協力をお願いします。

お問い合わせ/クリーンセンター
☎048 456 1593

人 ひとの推移

人口	12万7,448人	(+ 69人)
男	6万5,607人	(+ 42人)
女	6万1,841人	(+ 27人)
世帯数	5万7,146世帯	(+ 12世帯)

平成19年12月1日現在 ()内は前月比

朝霞市は男女平等を進めています

Vol 34

内閣府より公表されました、「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成19年8月調査)によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という、固定的性別役割分担については、今回、初めて反対が5割を超えました。また、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の関わり方について、男性の希望は「仕事と家庭生活ともに優先したい」が多くなっていますが、現実には「仕事を優先している」が多く、女性の希望は「仕事と家庭生活ともに優先したい」「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」が多くなっていますが、現実には「家庭生活を優先している」が多くなっており、男女ともに希望と現実との間にギャップが生じていることがわかりました。

お問い合わせ/人権庶務課 内線2255 ☎048 463 2697 (直通)